

居合道 だより

第163号



はじめに



今年はうるう年。4年に一度のうるう年に夏期五輪開催が重なる。何故うるう年があるのか、その前に何故2月は他の月より2日短いのかよく分からない。そんなことしないで一年12ヶ月のうち31日の月を2回減らせば済むことではないのかと単純に思ったりする。2月だけお月様が急いで満ち欠けするわけでもあるまいに。

素朴な疑問をパソコンはすぐに教えてくれる。

せっかくの機会だから少し紹介する。世界四大文明の古代エジプトから始まった太陽暦(新暦)は地球の太陽に対する公転周期、約365日を基準に1年を定める。微妙な誤差を4年に一度2月を1日増やすうるう年で調節する。

一方メソポタミア文明からの太陰太陽暦(旧暦)は地球の太陽に対する公転周期を1年と定めるのは同じだが、さらに月の満ち欠けを1ヶ月の基準と定める。月の満ち欠けは約29,5日だから1年が約354日になってしまう。そこでその誤差を調節するため数年に一度うる月をもうけ1年を13ヶ月とした。

灌漑農業を始めた古代文明の人々にとって1年の季節を知ることは生きていく上に

最も重要な事案だった。彼らはそれを太陽や星や月という宇宙を観察することで会得してきた。古代の王や為政者にとってそれは最大の権威の象徴でもあった。長い時をかけて人類はそれを身につけてきた。人類の叡智には計り知れないものがある。その源は当然生きるためだが、旺盛な好奇心、探究心がそれを助長してきた。

かつて福岡に当時90歳手前の小柄だが大範士の先生がいた。何かの折り、駅ホームで電車待ちをしている時、おもむろにポケットからホテルのカードキーを取り出してしきりに触っていた。「先生どうされましたか？」と問うと「いやこの中にどんな鍵が入っているのだろうかと思ってね」と言って薄いカードを剥がそうとしていたのである。居合への情熱も並外れていたが、なんたる好奇心、衰えぬ探究心かとますます好きになったものである。

現在、パソコンはおろかポケットに入るスマホさえもが瞬時にして世界中の情報を提供してくれる。我々はその仕組み、技術のひとかけらも理解せぬまま当たり前のように享受している。

しかるにこれだけの進化を遂げた人類が、なにゆえに地球上のすべての生き物を滅ぼしかねない原子力兵器や原発に依存し続けるのか。

人間の叡智と愚かさをつくづくと思う。

東京五輪開催まで半年を切った。まだ多くの競技で代表選手が決まっていない。4年に一度しか巡ってこない五輪という最高の舞台に出場することが、どんなに大変なことか。

彼らはそこに照準を合わせて全身全霊をかけて取り組んでいる。現役の競技者にとって技の上達は、自身がどれだけ汗と涙を流したかにかかってくるが、指導者の言葉をいかに理解し、体得していくかの自分なりの創意工夫が重要になってくる。

これもやはり探究心だ。

主な活動

1月 13日(祝) 居合道初稽古会 居合道部 武道館

二月・三月の予定

2月 24日(祝) 稽古会及北九州居合道大会(説明会) 水巻武道館

3月 1日(日) 福岡県居合道段位審査会 居合道部 武道館

3月 8日(日) 地域稽古会 居合道部 水巻武道館

3月 20日(祝) 第22回全国居合道七段選手権大会
第46回北九州居合道大会
北九州市立総合体育館

お知らせ

WEBですでに告知しておりますが、福岡県剣道連盟 居合道部では「コンプライアンス」に関連する相談窓口が新設されましたのでご連絡いたします。

各種ハラスメントなど、何かお困りの方は、相談窓口よりメールにてご連絡ください。

ご相談内容の情報に関しては個人情報として取り扱い、守秘義務の範疇としておりますので 安心してご相談ください。ご相談内容以外の情報の使用は致しません。

コンプライアンス委員は人生経験豊かな70歳代の男性が二名と年輩の女性一名。女性相談窓口は女性が担当いたします。

楽しく健全な居合道の修行をできるような環境作りに取り組んでまいります。

[コンプライアンス相談窓口はこちら](https://riai.info/?page_id=5206)

https://riai.info/?page_id=5206





編集後記

正月が過ぎもう2月。早っ！と思うのは私だけでしょうか？

1月に行く、2月は逃げる、3月は去ると申します。ことしは暖冬なので稽古もしやすく、割といい感じです。

変な病気が流行っているので注意したいところですが注意しようにもマスクも売り切れで買えないし……困ったもんです。

さて、私どもの道場に少年が3名初心者体験教室生で稽古に通っています。

子どもに教えることが難しく感じて、悪戦苦闘しておりますが、ある雑誌を読んだ時に眼から鱗が落ちました。

たあいな雑誌ですが「マンガでわかるブッダの教え」というのがコンビニの本棚でまるで「買え」と言わんばかりに光ってりましたので手に取り購入。

中に「莫妄想」というのがあり、莫は「なかれ」という意味で、妄想は「ただしくない考え」、つまり「正しくない考えを捨てなさい」というもの。

当たり前のことですが、「こうあるべき」と押し付けてやらせようとするとう無理が来てお互いにストレスになる。又、言わなければいつまで経ってもできない。そこでいったんこの考えを捨て、少年たちの「どこがいいところか」を探すことにした。

視点を変えたらいいところがたくさん見えてきた。

いろいろ状況があって半年ほど「これでいいのか？」と暗中模索で悩んでいたが、これでいいのだと確信できた。

また、こんなことも書いてありました「自燈明 法燈明」、修行を経験した自分自身を信じてよりどころにきなさいというもの。これでいいのか？と悩んだ時、信じるのは自分しかない。＜＝これお気に入り。(^^)

「可耕心田」少年たちとともに自分も成長する機会をいただけて感謝いたしております。

640円は安かったかな。

ちなみにぱっと見、恐ろしいのもありました(^^)

「逢仏、殺仏、逢祖、殺祖」

ほうほう、なるほどなるほど。内容はネタバレになるので、ぜひ640円でお買い求めください。

私、決して本屋の回し者でも、宗教家でもございませぬので、念のため。

(~||~)ナム～

変な病気も流行っておりますので皆様ご自愛ください。

健康で楽しく稽古に励みましょう！

*参考文献：「1日1話 マンガでわかる ブッダの教え」宝島社

© 公益社団法人 福岡県剣道連盟・福岡県剣道連盟 居合道部

第163号 令和2年2月発行

発行：福岡県剣道連盟居合道部

URL：<http://riai.info/>

発行人：井手友太

〒819-1132 糸島市有田36番地-1

TEL:092-322-0847

編集：有限会社 FEW